

岡山のスゴイところを
みつけよう!

岡山のことを
もっともっと
知りたいね!

ふるさと岡山に学ぶ

キミはどれだけ知ってるかな?

Q1 **自然**

しま模様と口ひげが特徴的。岡山市内の川で生きる、天然記念物の魚って何?

A **アユモドキ**

日本にしかいない淡水魚。アユモドキという名前だけど、本当はドジョウの仲間なんだよ。岡山と京都にしかなくて、絶滅が心配されているんだ。

Q2 **文化財**

岡山市でたった一つの国宝の建物。「桃太郎」のモデルになった神様をまつる神社ってどこだ?

A **吉備津神社**

本殿は500年以上昔からある貴重な建物で、「比翼入母屋造(ひよくいりもやづくり)」というほかにはない特別な造り方で建てられているんだ。ほかにも鬼のモデルとなった「温羅(うら)」をまつる御釜殿(おかまでん)もあるよ。

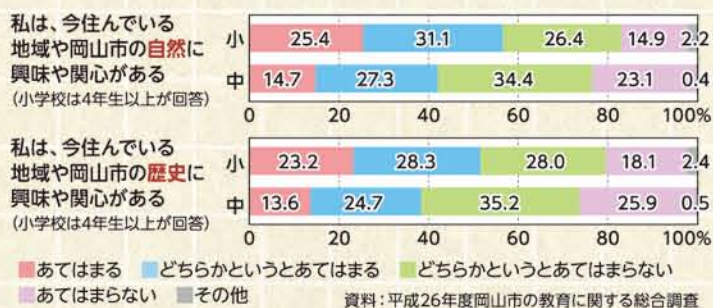
Q3 **Uと**

岡山城と岡山の街をつくった戦国大名って誰?

A **宇喜多秀家**

戦国時代に岡山を治めていたお殿様。豊臣秀吉に気に入られて「五大老」という、その時代の日本のトップ5に選ばれたんだ。秀家がいなかったら、岡山の街はできなかったかもね!

子どもたちは、地域の自然や歴史にどれだけ興味があるのでしょうか?



国指定の史跡の数を、政令指定都市のなかで比べてみると…



情報化が進む中で、希薄になる地域への関心

インターネットなどの発達により、今の子どもたちは、昔の子どもたちに比べ、さまざまな情報を瞬時に得ることができるようになりました。遠く離れた地球の裏側の出来事がわかる一方、身近な歴史や自然風土、文化について知っている子どもは意外に少なく、地域への興味や関心が以前に比べて希薄になっていると言われます。

地域の歴史や文化を知り、郷土愛を育む学習の取組

長い歴史と豊かな自然環境に恵まれる本市には、文化財だけでなく国・県・市の指定のもの

が291件あり、特に古代吉備の中枢を占めていたことから遺跡も多く、2729カ所が確認されています。

私たちが住む「岡山」の良さについて学習し、郷土への誇りや愛着を育むことは、子どもの自己形成において大きな支えになるとともに、子どもの「生きる力」を育んだり、「異文化への理解」を深めたりすることにもつながります。

本市では、各教科の学習や総合的な学習の時間などで、身近な地域の自然、環境、歴史や文化を題材にした体験活動や人との触れ合いを通じ、子どもの豊かな心を育んでいく取組を進めています。

育てよう!! おかやま大好きっ子

—ふるさとに学ぶ教育—

岡山市では、ふるさとへの誇りと豊かな心を育むさまざまな取組を推進しています。ここでは、市内の文化財、地域の自然や歴史などを題材に、郷土の魅力について学びを広げている教育活動を紹介します。



私たちの身近にある「たからもの」を、これからもずっとずっと大事にしていくESD活動だね!



ヤゴやオタマジャクシのほかに、「マツモムシ」、「タイコウチ」、「シマダンゴロウ」、「アカガエル」など多数の生きものたちが観察されました



5月に行われた「冬水田んぼ」での生きもの調査。岡山理科大学の先生や学生も調査に加わり、水生昆虫やカエルなどの種類と数を調べていました

関係者のコメント

メッセージ from「竹枝を思う会」
地域の中に小学校がなくなると、同じ地域に住む親や大人同士のつながりも失われてしまいます。児童数が減少している竹枝小学校をなんとか魅力のある学校にして地域に元気を取り戻したい、そんな思いで構想を練り、小学校と一緒に10年間活動を続けてきました。竹枝地区は美しい旭川、裏山、田んぼに囲まれた「生きものの里」です。ふるさとの豊かな原風景を取り戻すことは、地域みんなの共通の財産や思い出を残すこと。よりよい未来に向けて力を合わせてがんばっています。

自然と触れることで、子どもたちは生きものの知識が深くなると同時に心も養われます。この活動を通じて子どもたちのふるさとを思う気持ちが育っていると実感します。



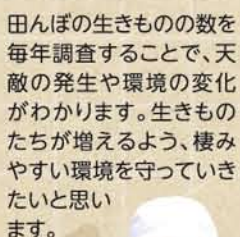
竹井 誠校長



地域のESD活動としても高く評価されているんだよ!



「冬水田んぼ」の生きもの調査は毎年とても楽しいです。アカガエルが増えることがうれしいです。竹枝のいいところは田んぼや山など自然がいっぱいあるところなんです。



田んぼの生きもの調査を毎年調査することで、天敵の発生や環境の変化がわかります。生きものたちが育つように、棲みやすい環境を守っていききたいと思っています。



佐藤 美羽さん (竹枝小6年)



まだまだあるよ!

みつけてみよう! 岡山市の自然

百間川最上流部
旭川と百間川が分かれる最上流部は水質が良く、緑が豊かなため、多様な生物が生息する豊かな自然が広がっています。さまざまな野鳥をはじめ、初夏にはホタルが見られ、自然を肌で感じられる場所として「日本の自然100選」にも選ばれています。

キビノミノボロスゲ
国内では、岡山市の吉備津彦神社の周辺などごく限られた地域にのみ自生する貴重な植物。ネコジャラシに似た姿で、岡山市の天然記念物に指定されています。古代に、神事などに使われるために国外から持ち込まれたのではないかと考えられています。

竹枝の自然

岡山市立竹枝小学校(北区)

「たけえだ・生きものの里・未来構想」

旭川の美しい水辺と里山が広がる北区建部町の竹枝地区は、人口724人の中山間地域。その真ん中にある児童数33人の竹枝小学校では、「人と自然が大好きになる教育」をテーマに、特色ある取組を行っています。

その活動の大きな柱となっているのが、地域住民有志で結成された「竹枝を思う会」との協働による「生きもの里づくり」。「子どもたちにふるさとの良さを伝えたい」と、思う会のメンバーが、荒れていた水辺を整備したことをきっかけに、毎月「水辺の楽校」を開き、ホタル鑑賞会や河原キャンプなど子どもたちと活動を行っています。

食農体験活動などにつなげ、郷土への愛着を育んでいます。

造山古墳

岡山市立芳田小学校(南区)ほか

巨大前方後円墳を実際に歩く! 歴史学習



石棺も実際に触れて見学。「古代人の身長は?」子どもたちも説明に興味津々です



自由に立ち入りできる古墳としては国内最大の造山古墳



石棺を初めて見ましたが、古代の人が2トンもの石(岩)を阿蘇からここまで運んできたことに驚きました。

岡田 貴佑さん (芳田小6年)

350mもある古墳の上を歩いて楽しかったです。たくさんの中輪が発見されていることすごいと思いました。

藤井 萌笑さん (芳田小6年)



造山古墳の駐車場に建つモニュメント。その名も「King of Kibi」(吉備の大王)

築造当時は国内最大級の古墳「造山古墳蘇生会」

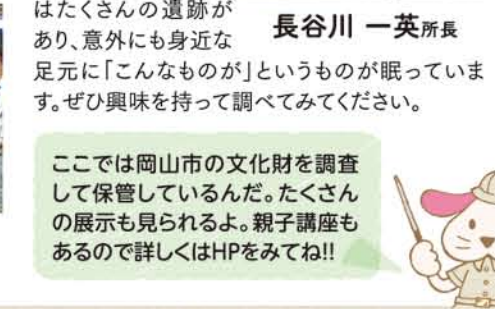
造山古墳は発掘調査が行われていないので非常に謎が多いとされています。驚くのは、5世紀以前の古墳がだいたい全長150mぐらいだったのに対し、造山古墳はその倍以上。大きさが一気にスケールアップしている点です。ブルドーザーも測量機器もない時代に、何十年かかるかわからない、これだけの巨大なものを造ろうとした古代人たちのエネルギーには圧倒されずにはいられません。どんな「王」だったのか、権力だけでなく人物の人格にもロマンを感じていただけます。

不思議な文様「直弧紋」【岡山市埋蔵文化財センター】

造山古墳の周りには6つの古墳の中で、最も大きい千足(せんぞく)古墳は平成22〜24年に発掘調査が行われました。横穴式石室の内部には、直線と曲線が複雑に絡み合う「直弧紋」という珍しい文様が描かれていて、古代の人が死者の魂を鎮めるために、なにかおまじないとして彫ったのではと言われています。ほかにも勾玉や銅鏡、巴型銅器なども出土しており、中には山陰や九州、遠くは朝鮮で作られたものもあります。



埋蔵文化財センターに展示されている千足古墳の「直弧紋」のレプリカ



実物(遺物)の出前や小学校での出張講座なども実施(写真は御津中学校生徒)

ここでは岡山市の文化財を調査して保管しているんだ。たくさん展示も見られるよ。親子講座もあるので詳しくはHPをみてね!

長谷川 一英所長

緒方洪庵先生について学ぼう



洪庵はどんな人だったのか、エピソードを交えながらわかりやすくお話をしてくださる武田さん



「洪庵祭の日」の給食。かやくごはん、なめこ汁、サバの塩焼きといった洪庵の好物が並びます

調べてみよう! 岡山市の先人

鳥人 幸吉(浮田幸吉) 1757~没年不詳
鳥人幸吉は日本で初めて空を飛んだとされる岡山県ゆかりの人物で、「航空の先駆者」とも呼ばれています。鳥に興味を持ち、空を飛ぶメカニズムを研究し翼を作製。1785年夏、京橋から飛び立ち、数十メートル滑空したと伝わっています。

大養 毅(木堂) 1855~1932
岡山県出身で初めて内閣総理大臣に就任した政治家。憲政擁護運動を先頭に立ちました。憲政の神髄とも呼ばれていた。総理大臣になり不況対策に力を入れたが、1932年に発生した「五・一五事件」で暗殺。その時に発した「話せばわかる」という言葉は有名です。

栄西 1141~1215
禅宗である臨済宗を開いた名僧。現在の吉備津神社の神主の家に生まれましたが、11歳で仏門に入り、比叡山延慶寺などで修行しました。その後、中国に留学し禅を学び帰国。京都や鎌倉に寺を建て、禅宗布教の基礎をつくりました。またお茶を日本に広めた「茶祖」としても有名です。

関係者のコメント

あの1万円札に描かれている福澤諭吉も、緒方洪庵先生の塾で学んでいたことを知って、すごい人なんだと思いました。



小野 遼佳さん (足守小6年)

種痘の効果を確認するために、治療費をとらずにお米を与えて、貧しい農家の子どもたちを治療したという話に感動しました。



小林 一生教諭



緒方 洪庵

大阪で通塾を開き人材を育てた洪庵。「近代医学の祖」とも言われています

足守の先人

岡山市立足守小学校(北区)

「洪庵祭」「利玄祭」「寂庵とんど集会」

江戸時代に足守藩の陣屋町として栄え、史跡や文化的資源が多く残る北区足守地区。足守小学校では、地域について深く知り新たな発見につなげようと、6年生を中心に郷土が生んだ3人の先人について「調べ学習」に取り組んでいます。

学んでいるのは、幕末の蘭学者として活躍した緒方洪庵、独特の歌風で知られた白樺派の歌人「木下利玄」、真言宗の僧侶で優れた書道家でもあった「寂庵和尚」の3人。総合的な学習の時間では、地元在住の元小学校校長・武田全晴さん

調べたことを6月に行われる学校行事「洪庵祭」をはじめ「利玄祭」などで発表し、地域の一員として足守の良さを発信しています。

※ESD: Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)の略。岡山市では2014年に「ESDに関するユネスコ世界会議」を開催し、さまざまな国の人たちが地域や公民館、学校などの取組が高く評価されました。2015年以降もユネスコをはじめ、世界中から、ESDの先進地域として注目されています。

お知らせ
1

教育に関する総合調査の結果をお知らせします。

「平成26年度教育に関する総合調査」結果公表～実態に基づいた教育を進めるために～

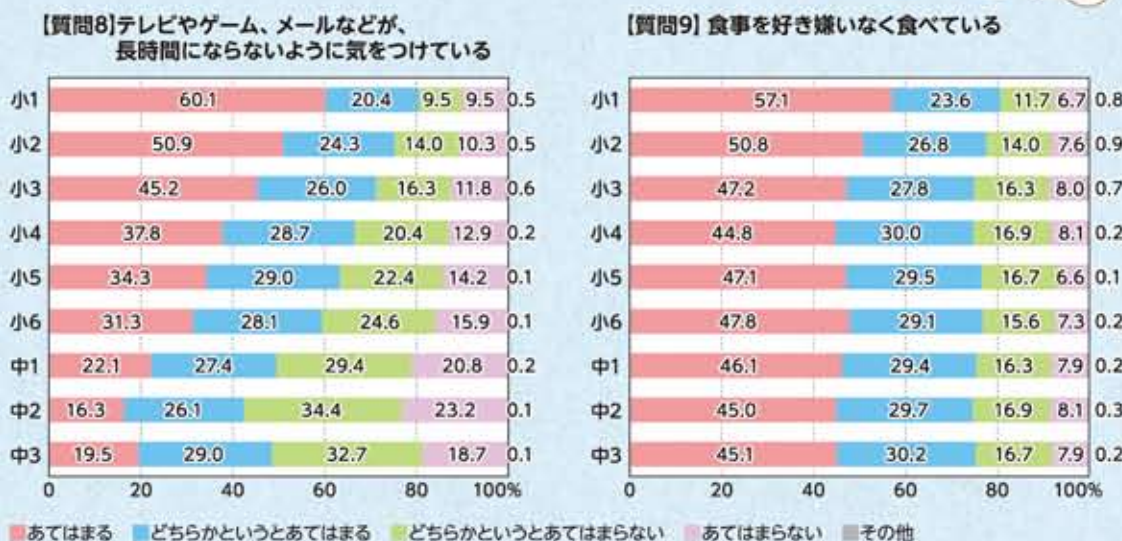
岡山市教育委員会では、平成26年度から、市立学校園の児童生徒、保護者、教職員を対象に、学習・生活習慣や教育についての意識など、岡山市の教育に関する実態を把握する「教育に関する総合調査」を始めました。右に集計結果の一部を紹介します。

【質問8】の「テレビやゲーム、メールなどが、長時間にならないように気をつけている」子どもの割合は、学年が上がるにつれて少なくなっています。一方、【質問9】の「食事を好き嫌いなく食べている」子どもの割合は小学校1年生から中学校3年生まで大きな変化がありません。このように、設問によっては回答の傾向に違いが見られます。

教育委員会では、集計結果を分析し、子どもたちへのよりよい教育活動につなげていこうと考えています。ご家庭でも、お子様との話題にしていいただければと思います。

■平成26年度教育に関する総合調査集計結果 (児童生徒への質問から抜粋)

調査へのご協力
ありがとうございました



集計結果は、岡山市教育委員会のホームページで公表しています。

お知らせ
2

こらぼん♪がLINEでお役立ち情報をお届けします♪

LINE@岡山市教育委員会 配信中!

岡山市教育委員会では、保護者を中心とした市民の皆さんを対象に、国内5千万人以上が利用するソーシャルネットワーキングサービス「LINE」を使った情報配信サービスを今年3月からスタートしました。岡山市の教育に関するお知らせや子育ての参考になる情報を、定期的に毎月2回岡山市教育委員会広報専門官「こらぼん♪」がわかりやすくお伝えしています。

内容は、第2木曜日は家庭教育コラム「子育てワン!ポイントアドバイス」と「せんせいからのメッセージ」。第4木曜日は「こらぼん♪おすすめ学校給食レシピ」と題し、学校給食で提供されるメニューのレシピや食育に関する話題などをお届けしています。そのほか、親子で参加できるイベントや教育委員会

からののお知らせなども随時配信しています。今後このサービスを多くの市民の方に利用していただき、より一層岡山市の教育に興味と関心を持っていただけることを期待しています。



トーク画面

ホーム画面

たくさんの人に
登録してほしいワン!

登録方法

LINEアプリを起動し、「その他」「友だち追加」画面を出す。

- ①「QRコード」から=右下のコードを読み取る
または
- ②「ID検索」から=@okayamashikorabo」と検索して友だち追加

※スマートフォンなどへのLINEアプリのインストールとユーザー登録が必要です。LINEアプリの利用に当たっては、アプリの特性について理解した上でご利用ください。
※詳しくは岡山市の広報紙「市民のひろば おかやま4月号9ページ」または「岡山市教育委員会のホームページ」をご覧ください。



トーク画面で
僕に話しかけると、
岡山市の歴史や文化財に
ついての「なるほど」「へー」
といった情報もゲット
できるワン!

ご意見・ご感想をお聞かせください!

教育広報紙「こらぼ」へのご意見・ご感想をお寄せください。
お寄せいただいた方の中から、抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。

「こらぼVOL.4」に寄せられた
ご意見・ご感想

「聞く」と「聴く」の違いは心に響きました。「聴く」ことを最近しているだろうか? 忙しいを言い訳にしていた「聞く」だけになっているような…。「聴く」ことができる人になるため、心にゆとりを持った生活を心掛けたいと思いました。

いのちを育む授業として、赤ちゃんに触れて、育児の大切さを知るというのはとても良い教育だと思います。自分自身、手塩にかけて、愛情を受けて育てられたということは、自分を大切に、また、相手(友だち)も大切に、教育上の様々な問題を解決できるのではと思いました。

いじめ、暴力、不登校等、身近に感じられた時、親としてどう対応し、どう解決すればよいのか不安ばかりでしたが、まずは「聴く」ということそれが大切なんだとよくわかりました。普段から子どもの話をよく聴いていれば、変化にも気が付き、冷静に対応できるかもしれません。「聞く」ではなく「聴く」を心掛けようと思いました。

昨年、県外から引っ越してきました。「こらぼ」を読み、岡山市の取組がよくわかりました。すべてを先生任せにせず、親も協力しあい、子どもの成長を見守っていったらなと思いました。岡山でこれから子育てするに当たり、不安もありますが、岡山市の取組がわかったのはよかったです。

たくさんのご意見・ご感想
ありがとうございます!

応募方法

〒、住所、氏名、年齢(または学年)、電話番号を明記の上、下記のあて先へご応募ください。

【はがき・封書】

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1
岡山市教育委員会事務局
教育企画総務課 行

【FAX】086-234-4141

【Eメール】korabo@city.okayama.jp

応募締切

平成27年 8月31日(月) 当日消印有効

※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用しません。
※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。